

教7 呼吸管理における Total Quality Management

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
宮下多美子

Total Quality Managementについて
阿部はとは、行われなければいけない
ことを理解し、行うことであり、第1に
問題を予防することである。これは終わ
りのないプロセスであり、その成果にも
必ず改良の余地があるという考え方であ
る。呼吸管理におけるTQMは、チームが
消費者の反応するサービスそのもの(呼
吸管理の臨床実践)に焦点を当てる。臨
床では高齢者の構成率は年々高まり、鈴
木らは肺炎²⁾を合併する原因にはADL・
痴呆などが強く関与し、かつ疾病・状態
に強く関連する調査結果を示した。

1. 肺炎³⁾

Community-Acquired Pneumonia
(C A P)

・地域での誤嚥 (市中肺炎)

Hospital-Acquired Pneumonia
(H A P)

- ・老人であるリスクは高い
- ・入院後48時間で引き起こす院内感染
- ・感染した場合5.8日入院が延長する
- ・続発する尿路感染(米国死亡率33%)

Ventilator-associated Pneumonia (V A P)

- ・人工換気の挿管ユーブ周囲の細菌群
- ・宿主の免疫能の低下
- ・エロゾルの細菌の散布
- ・菌種は日和見菌

2. 戰略的予防(肺炎): ADLと誤嚥 離床(抗重力姿勢:生活動作の維持拡 大) 免疫(5日前後の腸管からの栄養法) 安全な食事介助(介護法指導)

- ・患者には30度back rest position
を整える
- ・看護婦は、椅子に座って食事を口
に運ぶ
- ・集注力低下時は食物を口腔内に残
さない

まとめ(権限委譲)

- ①TQMは資格をもつ者に対する義務
- ②法的な要求
- ③質の向上による医療ミスのリスク
を下げる。